

# 平成28年度笹川科学・笹川スポーツ研究助成「研究発表会」

◎日時 平成29年4月21日(金) 10:00~11:25

◎場所 ANAインターコンチネンタルホテル 地下1階

◎プログラム(※内容・会場については予告なく変更する場合がございます)

	10:00~	10:20~	5分	10:45~	11:05~
第1会場 (スポーツ政策系)	スタジアムへの知覚アクセスが来訪・周遊行動に及ぼす影響—周辺施設への交通アクセスと情報アクセスを考慮して— 名城大学 中村 一樹	ランニングやジョギングを楽しむランナーと交通弱者の共存および住み分けの提案 富山大学 西館 有沙	休憩	成人知的障害者におけるロコモティブシンドロームの危険因子と運動実施状況の関連性 帝京科学大学 岩沼 聡一郎	一流女性テニス競技者の熟達化に関する研究—deliberate practice・deliberate playの観点から— 上智大学 竹村 りょうこ
	座長 横山 文人	横山 文人		澁谷 茂樹	澁谷 茂樹
第2会場 (人文・社会実践系)	新興民主主義国イタリヤにおける経済力向上の台頭—イタリヤ政策の事例から— 京都大学 東南アジア研究所 茅根 由佳	大阪くらしの今昔館の町並み展示を活用した「和の住文化」体験プログラムの実践—外国人観光客と留学生に日本の住文化の魅力を伝えるために— 大阪くらしの今昔館(大阪市立住まいのミュージアム) 服部 麻衣	休憩	刊行弾圧期における宣教師の書簡に関する研究—潜伏下の宣教師は日本をどう見たか— 神奈川大学大学院 歴史民俗資料学研究科 小泉 優莉菜	絶滅危惧昆虫をテーマとした公民館向け簡易展示プログラムの開発—住民参加による絶滅危惧昆虫の分布調査をめざして— 福井市自然史博物館 梅村 信哉
	座長 和崎 春日	水嶋 英治		広瀬 幸雄	水嶋 英治
第3会場 (化学・数物・工学系)	スルホン酸の衝突イオンを利用した効力増強反応 岐阜薬科大学大学院 薬学研究科 川尻 貴大	非可換幾何学に基づくヒッグス模型の湯川相互作用の起源の探究 埼玉大学 理学部物理学科 梁 正樹	休憩	可逆的な化学反応に基づく繰り返し駆動可能な応力検知材料の開発 早稲田大学 今任 景一	ガイド反応 TEM を用いたナノバリア質結晶化過程 1 分子“その場”観察 北海道大学 低温科学研究所 山崎 智也
	座長 米澤 宣行	波田野 彰		米澤 宣行	小島 憲道
第4会場 (生物系)	生体機能を制御する新物質—硫化水素の細胞内シグナル伝達の分子機構— 東京工業大学大学院 生命理工学研究科生体システム専攻 清水 隆之	同時的雌雄同体キヌガモトキ(ウツリ)における性的共食いの適応的意義の解明 東京海洋大学大学院海洋科学技術研究科海洋環境保全学専攻 小蕎 圭太	休憩	HY5プロモーター機能解析から明らかにする青色光受容体クリプトクロムによる植物の低温応答制御機構の解明 岩手大学大学院連合農学研究科 寒冷圏生命システム学専攻 今井 裕之	トマトの雌蕊形成を制御する新規遺伝子の解析 筑波大学大学院 生命環境科学研究科 生物圏資源科学専攻 羽尾 周平
	座長 園池 公毅	奥谷 喬司		園池 公毅	湯浅 浩史
第5会場 (複合海洋・船舶系)	北海道の異なる酪農経営法と栄養収支パラメータの関連性調査—北海道スタイルの低環境負荷型酪農法の確立に向けて— 北海道大学大学院 農学研究科連携研究部門 内田 義崇	新しい脆性破壊強度評価法の構築 海上技術安全研究所 小沢 匠	休憩	受動的および能動的触覚刺激による介入が皮質背髄路興奮性に及ぼす影響 新潟医療福祉大学 医療技術学部理学療法学科 小島 翔	カクイワシ科カクイワシ属魚類の分類学的研究 鹿児島大学大学院連合農学研究科 農水圏資源環境科学専攻 畑 晴陵
	座長 木村 龍治	鈴木 英之		跡見 順子	阪倉 良孝

\*第2~第5会場の発表者の所属は平成28年度助成時のものです。